

問 59 から問 80 は『日本書紀』に関する問題です。

以下の文章を読んで問 59 と問 60 の設問に答え
てください。

「国生み」神話は、私たちの祖先が、まわりの存在はみな神の生みの子であるという一体感を持っていたことを示しています。こうした観念は宮中の祭りにも反映されていて、「大八洲」の神格として生島神・足島神が、生島^{かななぎ}巫が祭る神として、『延喜式』に記されています。また、鎌倉時代まで行われていた天皇の即位儀礼の一つに□ア祭があります。これは、大嘗祭の翌年、難波の海岸で行われ、生島神・足島神を祭って、天皇と国土の神霊とが一体であることを確認する儀礼と考えられています。また、令の規定によると、^{みことのり}詔に用いられる国号は「□イ国」とされています。

問 59

□アに入る言葉として正しいものを選んでください。

1. 立柱
2. 道饗
3. 坐摩
4. 八十島

問 60

イに入る言葉として正しいものを選んでください。

- | | |
|---------|--------|
| 1. 生島足島 | 2. 神島 |
| 3. 八十万洲 | 4. 大八洲 |

➡『神話のおへそ『日本書紀』編』58ページ「すべての存在は神の生みの子」（参考：公式テキスト⑦『神社のいろは要語集 祭祀編』30ページ「八神殿」）

問 59 正解 4 問 60 正解 4

問 61

以下の文章を読んでアイに入る言葉の組み合わせとして最もふさわしいものを選んでください。

アでは、イザナミノミコトの死とイザナキノミコトの黄泉国訪問のことは語られておらず、二神がそろってアマテラスオオミカミ以下の神々を生んだと伝えています。

アは陰陽のはたらきによって万物が生まれ出されるという中国の陰陽思想を意識していて、天つ神の中心で、皇室の祖神でもあるアマテラスオオミカミが、男女二神がそろって生んだ神であるというかたちにしたのではないかと考えられます。ですから、わが国の伝承としては、イが伝えるように、イザナミノミコトが亡くなったあと、黄泉の国から帰ってきたイザナキノミコトが禊祓をしたときに、アマテラスオオミカミ以下が誕生するという内容が古いものと思われる。

1. ア、『古事記』
イ、『日本書紀』本文
2. ア、『日本書紀』本文
イ、『古事記』
3. ア、『古事記』
イ、『日本書紀』の一書
4. ア、『日本書紀』本文
イ、『古事記』と『日本書紀』の一書

⇒『神話のおへそ『日本書紀』編』74ページ「『古事記』と大きく異なる内容」

正解 4

問 62

「瑞珠盟約章」の第三の一書に関する問題です。空欄□□に入る言葉として正しいものを選んでください。

日神の生んだ三柱の女神は、葦原中国の□□^{しま}嶋に降されました。今は、北の海路の中にましまして道主貴と申します。この神は筑紫の水沼^{みぬまのきみ}君等が祭る神です。

1. 須賀
2. 笠沙
3. 宇佐
4. 巖^{いつく}

➡『神話のおへそ『日本書紀』編』92 ページ「【一書（第三）】」、94 ページ「誓約と五男神の誕生」、96 ページ「宗像三女神と八幡宮」、121 ページ「和歌の発祥」、140 ページ「第九段 本文」

正解 3

「宝剣出現章」第四の一書に関する問題です。文章を読んで問 63 から問 65 の設問に教えてください。

素戔嗚尊の所業はとても手がつけれなかったもので、諸々の神たちは、素戔嗚尊に償いの物

(ア) をたくさん差し出させて追放しました。
この時、素戔鳴尊は御子のイを連れて新羅国
に降られ、曾戸^{そしもり}茂梨というところにおられました。
(中略)

初めイが天降られたとき、多くの樹木の種
をお持ちになりました。しかし韓地^{からくに}には植えられ
ず、すべて持ち帰られました。そして、筑紫から
蒔^まき始め、国中に蒔き植えられて、青々と茂った
山はならないところはありませんでした。これに
よって、イを有功^{いさおし}の神と申し、紀伊国にまします大神です。

問 63

アに入る言葉として正しいものを選んでください。

- | | |
|---------------------------|---------------------------|
| 1. 千座置戸 ^{ちくらおきと} | 2. 端出之繩 ^{しりくめなわ} |
| 3. 興台産霊 ^{こごとむすひ} | 4. 奥津棄戸 ^{おきつすたへ} |

問 64

イに入る言葉として正しいものを選んでください。

- | | |
|---------|----------|
| 1. 大年神 | 2. 大己貴神 |
| 3. 五十猛神 | 4. 天之葺根神 |

問 65

下線のようにこの神は「紀伊国にまします」とありますが、その神社とはどれでしょうか。

1. 伊太祁曾神社
2. 花窟神社
3. 日前神宮・國懸神宮
4. 大洗磯前神社

➡『神話のおへそ『日本書紀』編』117 ページ「【一書 (第四)】」、122 ページ「草薙劍」、101 ページ「第七段 本文」、104 ページ「【一書 (第三)】」、118 ページ「【一書 (第五)】」、134 ページ「『古事記』での展開⑥ 大年神の神裔」、75 ページ「五穀と養蚕の起源」、102 ページ「【一書 (第一)】」、107 ページ「さまざまな祭祀の起源」、124 ページ「医術と温泉と『恩頼』」

問 63 正解 1

問 64 正解 3

問 65 正解 1

「宝剣出現章」第六の一書に関する問題です。文章を読んで問66と問67の設問に教えてください。

むかし、大己貴命は□ア□に「我らの造った国は立派にでき上がったと言えるだろうか」とお尋ねになると、「でき上がった所もあれば、でき上がっていない所もあります」と答えられました。この会話には、何か深遠な意味があるようです。その後、□ア□は熊野の御碕みさきに行き、ついに□イ□に行かれました。または、淡島あわのしまに行き、粟くきの莖くきに登られると、弾かれて□イ□に至られたともいいます。(中略)

初め、大己貴神が国を平定されたときに、出雲国の五十狭狭いささの小汀おはまに行き着いて、食事をしようとされました。すると、海上から突然人の声があったので、驚いて探されましたが、何も見えませんでした。しばらくして、一人の小男が白斂かがみ(ガガイモ)の皮を舟にし、鷓鴣さざき(ミソサザイという鳥)の羽を衣にして、潮流のままにやって来ました。大己貴神が、この小男を取り上げ、手のひらに置いて玩んでいると、飛び跳ねて頬に咬みつきました。そこでその様子を不思議に思い、使いを遣わして天つ神に報告されました。すると、□ウ□が、これを聞かれて、「私が産んだ子はあわせて一千五百柱あるが、その中の一人は悪くて教えに従わず、指の間から漏れ落ちたのが、きっとその子だろう。慈しみ育てよ」とおっしゃいました。これが□ア□です。

問 66

ア イ に入る言葉の組み合わせとして正しいものを選んでください。

1. ア、思兼神 イ、高天原
2. ア、思兼神 イ、常世郷
3. ア、少彦名命 イ、高天原
4. ア、少彦名命 イ、常世郷

問 67

ウ に入る言葉として正しいものを選んでください。

1. 天照大神 2. 高皇産霊尊
3. 伊弉諾尊 4. 神皇産霊尊

➡ 『神話のおへそ『日本書紀』編』119 ページ「【一書（第六）】」、124 ページ「医術と温泉と『恩頼』」、126 ページ「和魂、荒魂、幸魂、奇魂」

問 66 正解 4 問 67 正解 2

問 68

「天孫降臨章」第一の一書に関連した問題です。文章を読んで空欄□□□□に入る言葉として正しいものを選んでください。

皇孫を日向の高千穂へ送った後、□□□□は伊勢の「五十鈴の川上」に到ったと記されています。これは後に、天照大神が伊勢の地に祭られることを暗示した記事で、『古語拾遺』には「^{あらかじ}預め幽契（かくれたるちぎり）を結ぶ」とあって、天照大神と□□□□とが約束を結んでいたと記されています。□□□□の子孫は、「^{うじの}宇治^{つちぎみ}土公」として伊勢に土着し、内宮に「^{うちんど}玉串内人」として代々奉仕していました。

- | | |
|---------|---------|
| 1. 天鈿女命 | 2. 天児屋命 |
| 3. 太玉命 | 4. 猿田彦神 |

➔ 『神話のおへそ『日本書紀』編』159 ページ「天壤無窮の神勅」

正解 4

同じく「天孫降臨章」第一の一書に関する問題です。以下の文章を読んで問 69 から問 72 までの設問に答えてください。

□ア□は、天津彦彦火瓊瓊杵尊に八坂瓊曲玉と八咫鏡、草薙剣の三種の□イ□を授けられ、中臣の先祖である天兒屋命はじめ、□ウ□の先祖である石凝姥命、□エ□の先祖である玉屋命など、あわせて□オ□柱のお供の神（□オ□部の神）を従わせられました。そして、皇孫に勅されて、「葦原の千五百秋の瑞穂の国は、我が子孫が君となるべき地である。皇孫よ、あなたが行って治めなさい。前途に幸あれ。皇位の栄えることは、天地とともに窮まることはないでしょう」とおっしゃいました。

問 69

□ア□ □イ□に入る言葉の組み合わせとして正しいものを選んでください。

1. ア、高皇産靈尊 イ、あらわ顕物
2. ア、高皇産靈尊 イ、たから宝物
3. ア、天照大神 イ、顕物
4. ア、天照大神 イ、宝物

問 70

□ウ□ □エ□に入る言葉の組み合わせと

して正しいものを選んでください。

1. ウ、玉作たまつくり エ、鏡作かがみつくり
2. ウ、鏡作 エ、玉作
3. ウ、土師はじ エ、木綿作ゆうつくり
4. ウ、木綿作 エ、土師

問 71

に入る言葉として正しいものを選んでください。

1. 四 2. 五
3. 八十万 4. 八百万

問 72

下線部の部分の内容は何と呼ばれているでしょうか。

1. 天壤無窮の神勅
2. 宝祚隆昌の神勅
3. 皇祖皇宗の神勅
4. 萬世一系の神勅

➡『神話のおへそ『日本書紀』編』145 ページ「【一書（第一）】」、159 ページ「天壤無窮の神勅」

問 69 正解 4 問 70 正解 2

問 71 正解 2 問 72 正解 1

同じく「天孫降臨章」第二の一書に関する問題です。以下の文章を読んで問 73 と問 74 の設問に答えてください。

太玉命が、肩に太手ふとたすき纒を掛け、天孫の名代として、大物主神を祀るようになったのは、これが始まりです。天兒屋命は、神事をつかさどる ア の者であるので、イ によって仕えさせました。そこで、高皇産靈尊は「私は天津ウ と天津エ を設けて、皇孫のために祭りをしよう。天兒屋命と太玉命は、天津ウ を持って葦原中国に降り、皇孫のために祭りをせよ」と命じられました。

問 73

ア イ に入る言葉の組み合わせとして正しいものを選んでください。

1. ア、宗源そうげん イ、託宣
2. ア、宗源 イ、太占
3. ア、太古たいこ イ、託宣
4. ア、太古 イ、太占